

製品名: SSTR1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18307**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	43kDa

抗原情報

遺伝子名	SSTR1
別名	SSTR1; Somatostatin receptor type 1; SS-1-R; SS1-R; SS1R; SRIF-2
遺伝子 ID	6751.0
SwissProt ID	P30872
免疫原	抗血清はヒト SSTR1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 9-58

背景

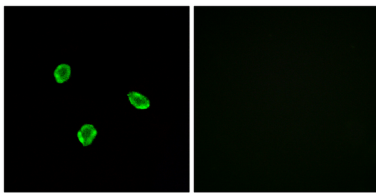
ソマトスタチンは、神経伝達、細胞増殖、内分泌シグナル伝達などの多様な細胞機能を制御するとともに、多くのホルモンや他の分泌タンパク質の放出を阻害するペプチドホルモンです。ソマトスタチンには、14個と28個のアミノ酸からなる2つの活性型があり

ます。ソマトスタチンの生物学的効果は、組織特異的に発現する G タンパク質共役型ソマトスタチン受容体ファミリーによって媒介されます。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、7つの膜貫通セグメントを持つソマトスタチン受容体スーパーファミリーのメンバーです。ソマトスタチン受容体は、スーパーファミリーの他のメンバー、他の G タンパク質共役型受容体、および受容体チロシンキナーゼとホモ二量体およびヘテロ二量体を形成します。このソマトスタチン受容体は、ソマトスタチン 28 よりもソマトスタチン 14 に対して高い親和性を持っています。[RefSeq 提供、2012年7月],機能: ソマトスタチン受容体。ソマトスタチン-28 よりもソマトスタチン-14 との親和性が高い。この受容体は百日咳毒素感受性 G タンパク質を介してアデニル酸シクラーゼ阻害に結合している。さらに、百日咳毒素非感受性 G タンパク質を介してホスホチロシンホスファターゼおよび Na(+)/H(+)交換輸送体を刺激する。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。サブユニット: SKB1 と相互作用する。組織特異性: 胎児腎臓、胎児肝臓、成人脾臓、脳、肺、空腸、胃。、

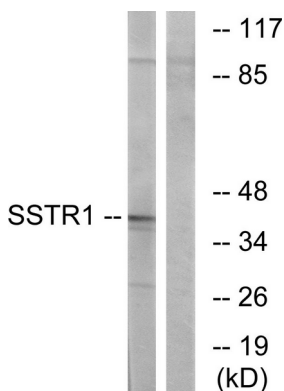
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

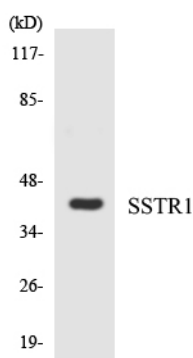
画像データ



SSTR1 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



SSTR1 抗体を用いた COS7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



SSTR1 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。